

## はじめに

---

この本は、子育てのハウツー本ではありません。

目指すは脱マニュアル。これから子どもを育てていくみなさんに、**自分で考えるチカラ**をつけていただきたく、**知らないともったいない子育て**についてつづります。

この本を通して私がみなさんにお伝えしたいことは、今、この瞬間に抱えている問題の解決法ではなくて、そのちょっと先のこと、なんです。

子どもに関する悩みごとの多くは、表面化してから「どうしよう？」と考え始めます。それから考えても遅い……とは言いませんが、前もって起こりうる問題がある程度わかっているならば、回避出来ることもたくさんあります。

起こりうる問題を知っておくことで、今やっておくべきこと、今しか出来ないことを実践しておくことが出来るのです。

私は、この本の中で、**おむつはずしと親子英語と読み聞かせ**について、簡単に紹介します。どれも0歳の赤ちゃんだけを見ていたら「今じゃなくてもよくない？」というような内容です。

しかしこれらの問題は、表面化してから解決策を考えるのと、先を見据えて今からコツコツ習慣を作っていくのとは、みんながその問題に直面する時期に、取り戻せないほどの大きな差になって現れてきます。

何事も遅すぎるといえることはないけれど、最適な時期というのはあります。

問題が表面化してから「あのとき知っていれば!」「もっと前からやっておけば!」と思うのは、非常にもったいない! 最適な時期は、取り戻したくても、残念ながら取り戻すことは出来ません。

情報があふれる現代社会。多くのお母さんたちが情報に操作され、縛られ、必要以上に悩んだり、つらい思いをしたりしています。問題の本質を見失っていたり、そもそも知らなかったりすることも多々あります。

今、これから子育てをするお母さんたちに必要なのは、情報をうまく取り入れつつも、自分なりのベストな方法を考え、選択し、実践していくチカラだと私は思います。

あふれる情報を基準に我が子を比較、判断するのではなく、まずはお母さん自身の生き方、そして子育ての軸を定めませんか?

お子さんとしっかり向き合い、価値があると感じるものを見極め、お母さん自身が考え工夫し、毎日を楽しんでいる姿をお子さんに見せてあげましょうよ! その姿が、何よりも子どもの生き方を育みます。

この本で紹介するのは、お子さんの数年後、数十年後を見据え、乳幼児期から出来ること・しておいたほうがいいことのほんの入口部分です。情報量に物足りなさを感じるかもしれませんが、それがねらいでもあります。

単なるハウツーを得るためではなく、自身の生き方、子育ての軸を考える**きっかけ**として読んでいただきたいのです。お子さんと向き合い実践する中で、ぜひ、あなたにとってのベストな方法を見つけてください。自分だけのやり方を見つける過程を楽しんでください。

この本が、お子さんと過ごす時間をより有意義なものにするきっかけになったら、嬉しく思います。